



3.5 段階的整備イメージ

開発地区や多摩都市モノレール延伸の動向と併せてまちに必要な機能・空間を段階的に整備し、拡張していきます。
想定される段階的整備イメージの1例を示します。

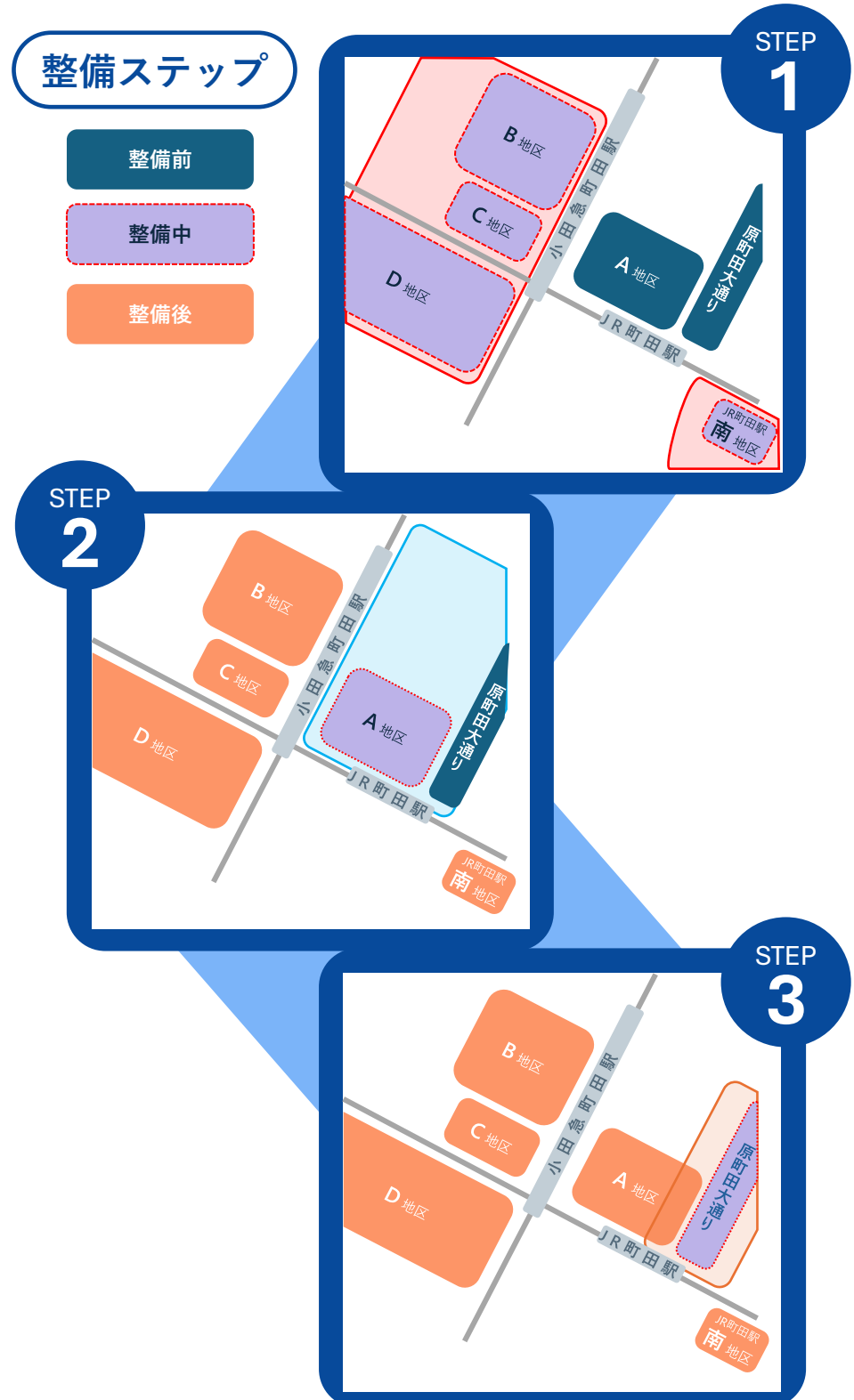
現状



- 既存ネットワーク
- 既存の広場空間
- 地上の歩行者軸
- 車両の交通軸

整備ステップ

- 整備前
- 整備中
- 整備後



※ 上記の各STEPは現時点でのイメージであり、整備内容、エリア、順序や位置が確定したものではありません。



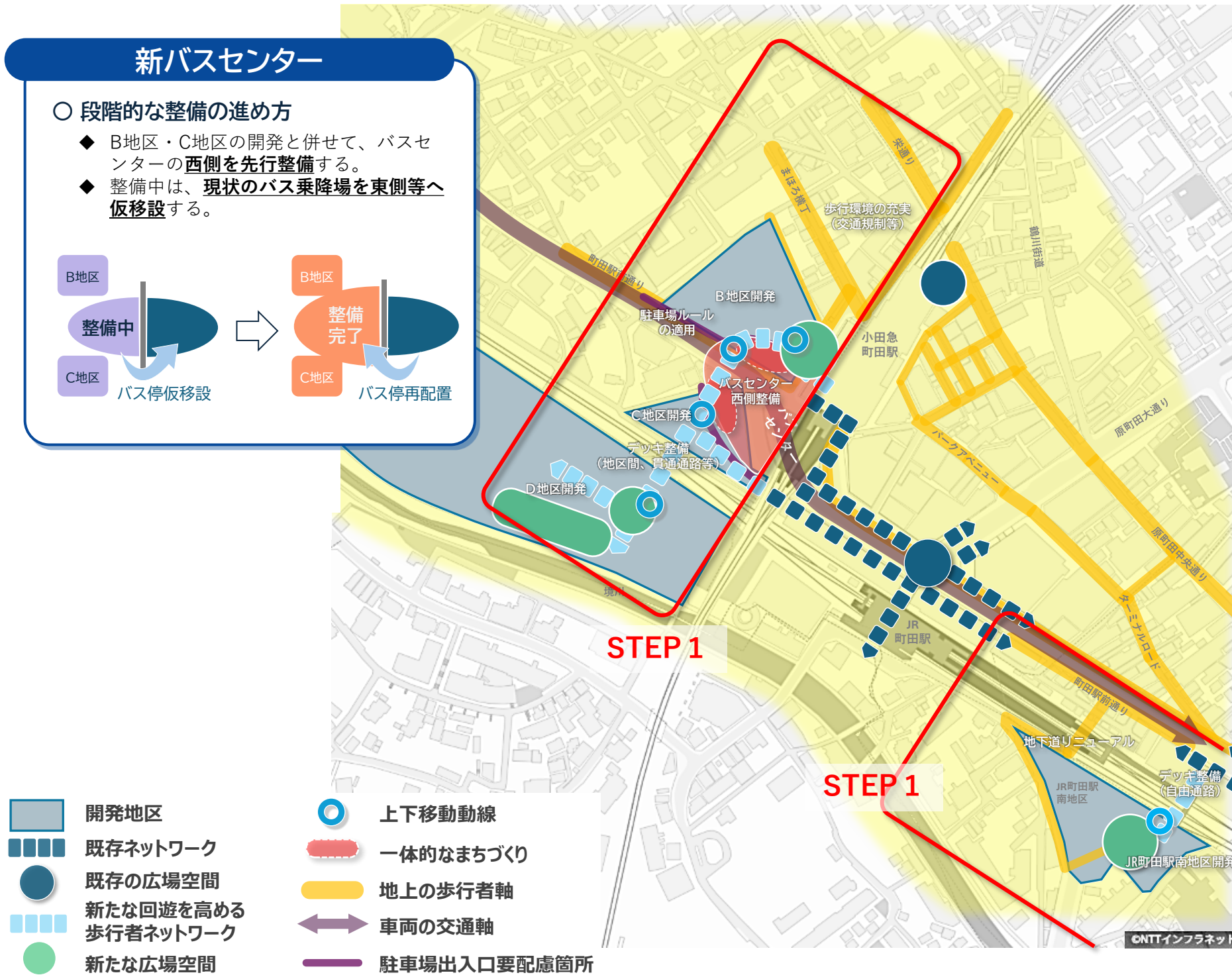
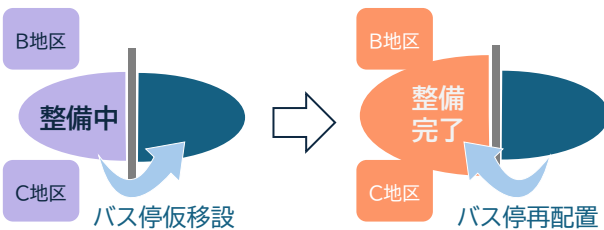
STEP 1

B・C・D地区およびJR南地区の開発と併せた整備

新バスセンター

○ 段階的な整備の進め方

- ◆ B地区・C地区の開発と併せて、バスセンターの西側を先行整備する。
- ◆ 整備中は、現状のバス乗降場を東側等へ仮移設する。



- 開発地区
- 既存ネットワーク
- 既存の広場空間
- 新たな回遊を高める歩行者ネットワーク
- 新たな広場空間

- 上下移動動線
- 一体的なまちづくり
- 地上の歩行者軸
- 車両の交通軸
- 駐車場出入口要配慮箇所

エリア全体

○ 段階的な整備の進め方

- ◆ 駐車場出入口の設置や、隔地駐車場の整備などのルールを、開発地区において適用する。
- ◆ エリアマネジメント組織を構築し、官民一体で整備中のまちの暫定利用や、完成部分のまちの運営・管理を行う。

歩行者ネットワーク

○ 段階的な整備の進め方

- ◆ B地区・C地区・D地区の開発と併せて、駅前通りや鉄道を越える歩行者動線を整備する。
- ◆ JR町田駅南地区の開発と併せて、鉄道の南北を横断する原町田自由通路をリニューアルする。
- ◆ 各地区において、上下移動も含めたシームレスな動線を開発地区と一体的に整備する。
- ◆ 開発地区内では、歩行者が歩きやすい空間を関係者が連携して確保する。



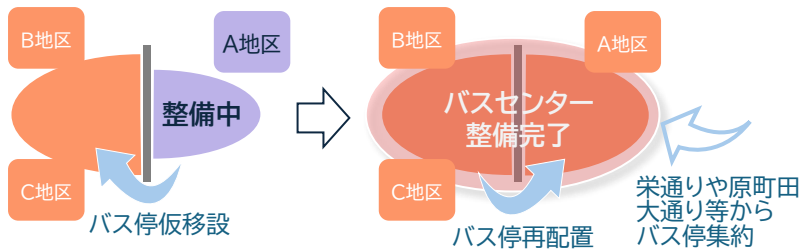
STEP 2

A地区の開発と併せた整備

新バスセンター

○ 段階的な整備の進め方

- ◆ A地区の開発と併せて、バスセンターの東側を整備し全体を完了する。
- ◆ 整備中は、現状のバス停を西側等へ仮移設する。
- ◆ 整備後は栄通りや原町田大通り等に点在するバス停を段階的にバスセンターに集約する。



歩行者ネットワーク

○ 段階的な整備の進め方

- ◆ A地区の開発において、上下移動も含めたシームレスな動線を開発地区と一体的に整備する。
- ◆ 開発地区内では、まちなかや各駅に歩きやすい空間を関係者が連携して確保する。

エリア全体

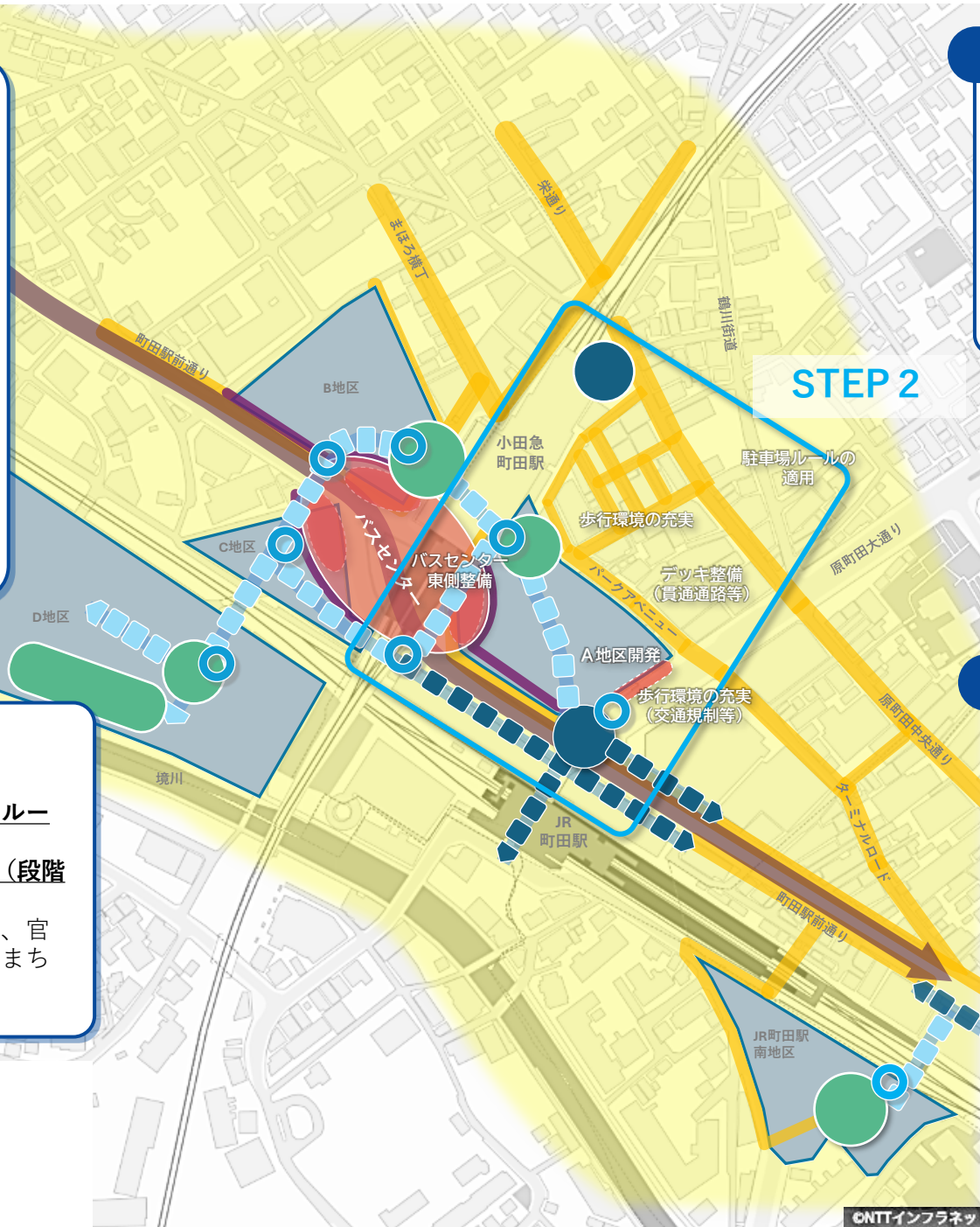
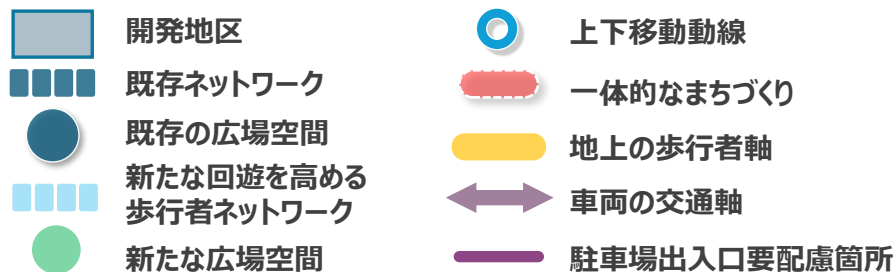
○ 段階的な整備の進め方

- ◆ 駐車場出入口の設置や、隔地駐車場の整備などのルールを、引き続き開発地区において適用する。
- ◆ A地区の開発と併せて、原町田大通りの交通規制(段階的に歩行者優先)などを強化する。
- ◆ エリアマネジメントの組織の範囲をさらに拡大し、官民一体で整備中のまちの暫定利用や、完成部分のまちの運営・管理を行う。

原町田大通り周辺

○ 段階的な整備の進め方

- ◆ A地区の原町田大通りやパークアベニューに接する部分を、魅力的な歩行・滞留空間と快適な乗換のための空間として整備する。





STEP 3

多摩都市モノレール延伸を見据えた整備

エリア全体

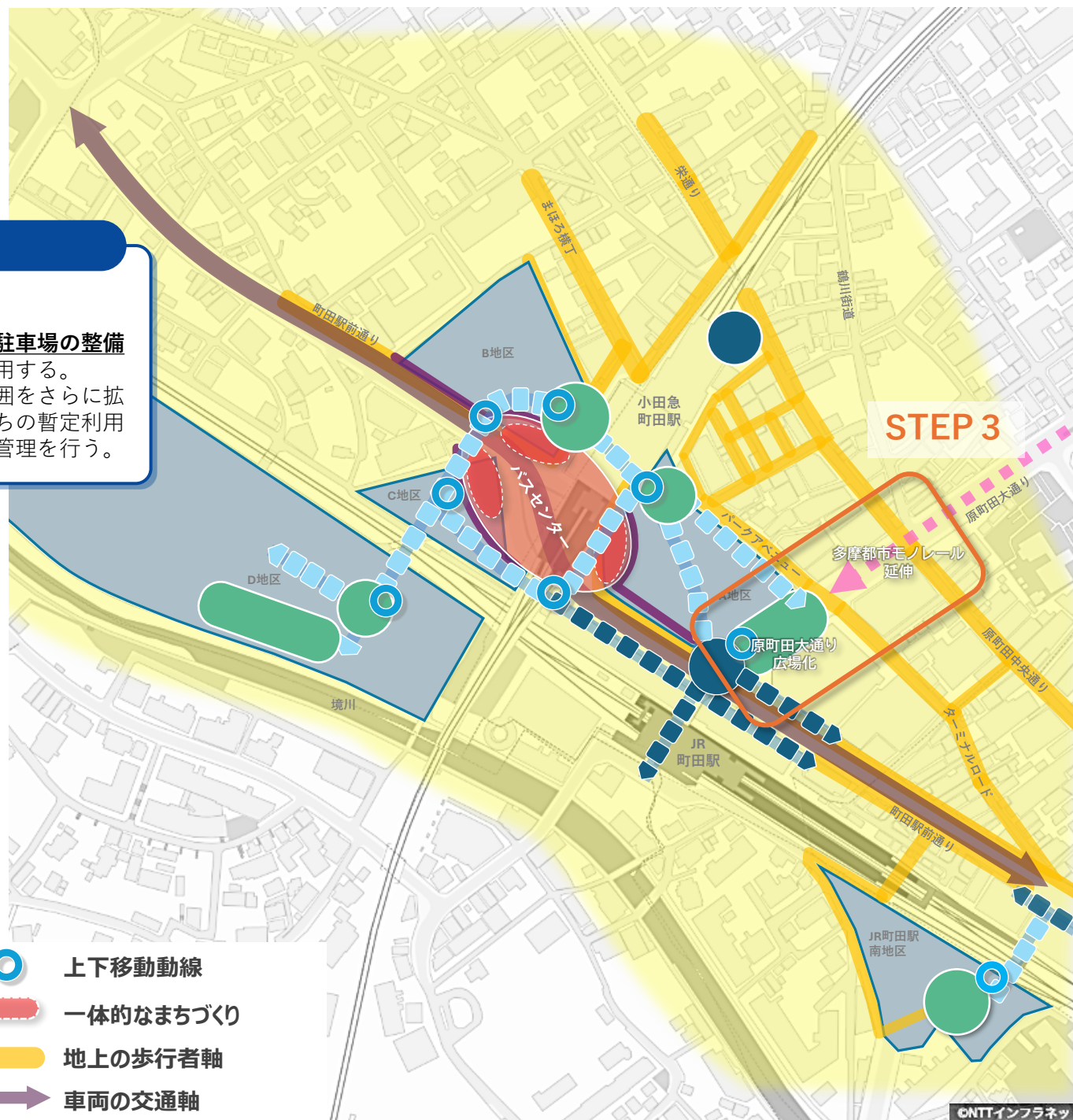
○ 段階的な整備の進め方

- ◆ 駐車場出入口の設置や、隔地駐車場の整備などのルールを、継続して適用する。
- ◆ エリアマネジメント組織の範囲をさらに拡大し、官民一体で整備中のまちの暫定利用や、完成部分のまちの運営・管理を行う。

原町田大通り周辺

○ 段階的な整備の進め方

- ◆ 多摩都市モノレール延伸と併せ原町田大通りの広場空間を整備する。
- ◆ 原町田大通りの広場空間を介して、小田急町田駅やJR町田駅へつながる動線をA地区と一体的に整備する。



- 開発地区
- 既存ネットワーク
- 既存の広場空間
- 新たな回遊を高める歩行者ネットワーク
- 新たな広場空間

- 上下移動動線
- 一体的なまちづくり
- 地上の歩行者軸
- 車両の交通軸
- 駐車場出入口要配慮箇所

©NTTインフラネット